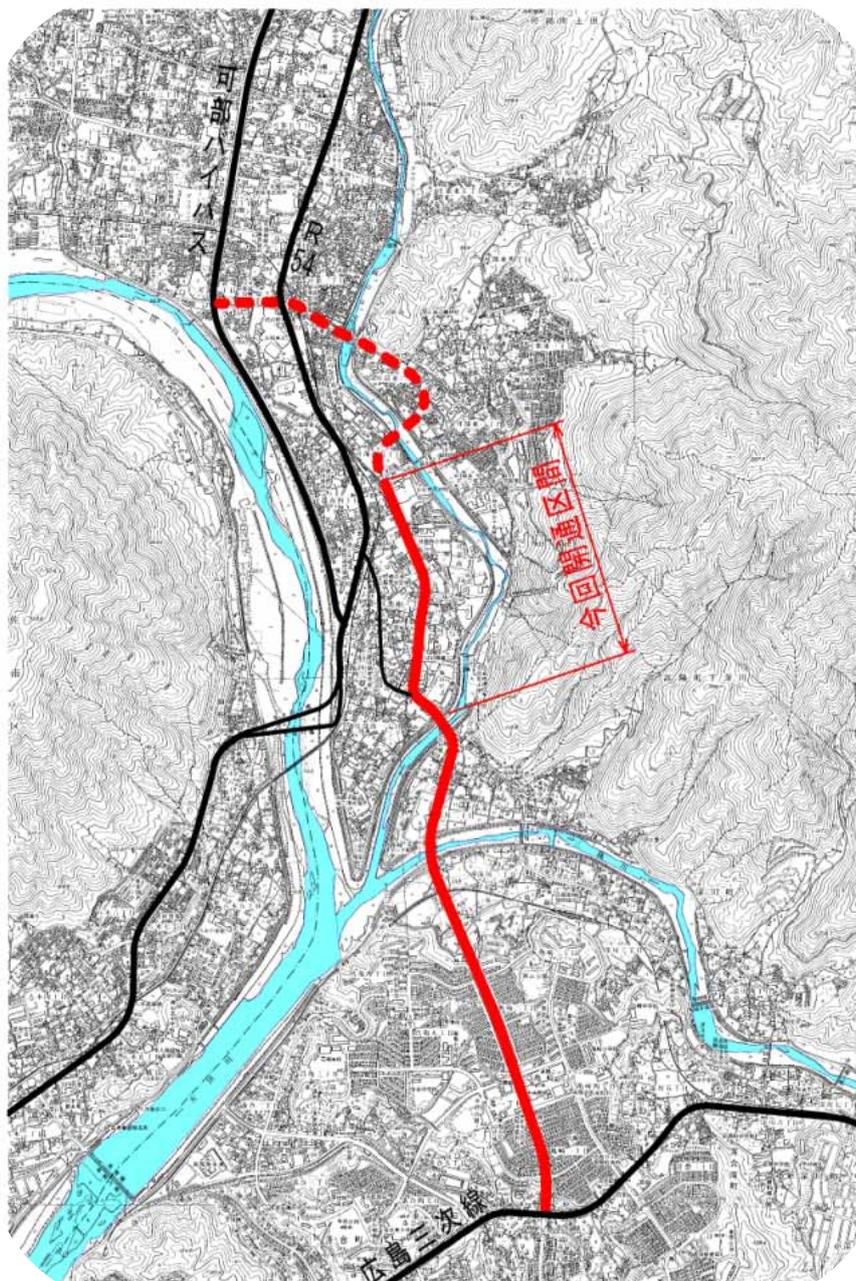


## 都市計画道路高陽可部線(2工区)の整備効果を紹介します。

### 都市計画道路高陽可部線とは？

都市計画道路高陽可部線は、安佐北区落合南七丁目の主要地方道広島三次線高陽浄水場入口交差点から、安佐北区可部一丁目可部バイパス可部取水場交差点に至る全長約5.14km、道路幅員16mの補助幹線道路です。

今回開通しました区間〔高陽可部線(2工区)〕は、根の谷川橋北詰から安佐市民病院まで約1.15kmの区間です。



——— 開通区間    - - - 未開通区間

都市計画道路： 都市計画道路は、都市の健全な発展と機能的な都市活動を確保するため、都市計画法という法律で定められた道路です。

補助幹線道路： 都市全体に網状に配置され、都市の骨格や近隣住区を形成する道路です。



## 都市計画道路高陽可部線(2工区)の整備効果について(調査の内容)

### 【交通量調査】

供用前と供用後において、本道路における自動車と歩行者等の通行量の変化を把握するため、周辺交差点(5箇所)において、自動車と歩行者等の平日昼間12時間(7時~19時)における方向別交通量調査及び、旅行速度を行いました。

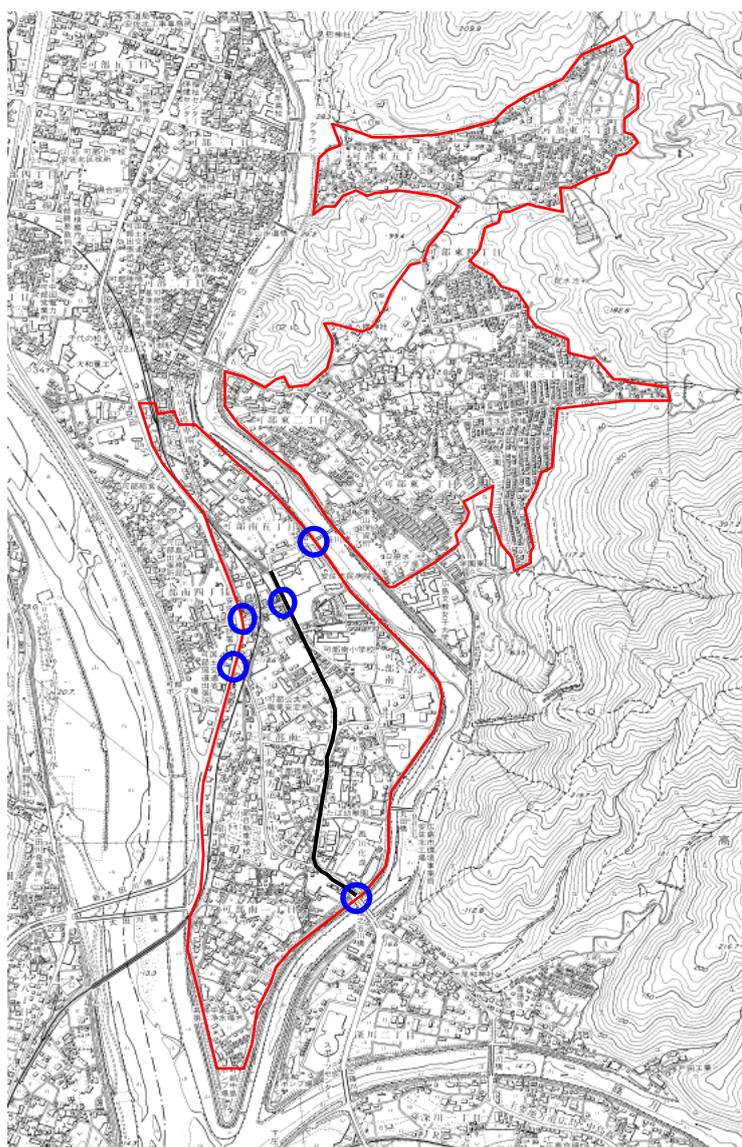
**交通量調査実施日** 供用前：平成16年12月1日(水),3日(金)  
供用後：平成20年12月3日(金),5日(水)

### 【アンケート調査】

利用者や生活者の視点から、道路整備に対する満足度等を具体的に把握するため、対象地域内で町内会の協力を得て沿線住民(約2150世帯)へのアンケート調査を行いました。

その回収率は、約60%でした。

**アンケート調査実施時期** 平成21年2月



- 今回開通区間
- 交通量調査地点
- アンケート対象区域

# 都市計画道路高陽可部線(2工区)の整備効果について(交通量調査結果)

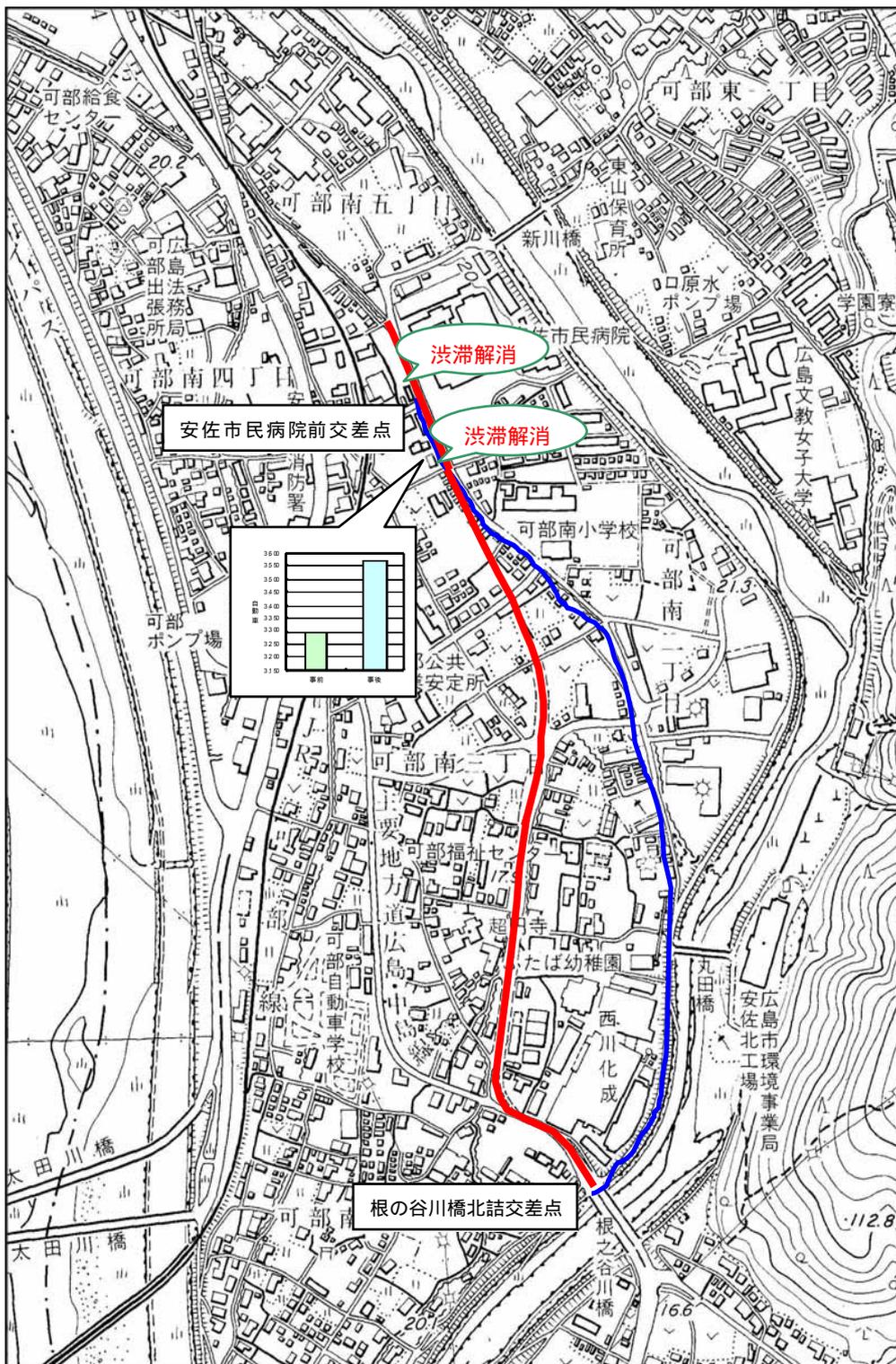
## 【交通量調査結果概要】

自動車交通量の変化 約 3,290 台 約 3,580 台 1.1 倍増加

旅行速度(所要時間) 約 37 秒短縮

(根の谷川橋北詰交差点～安佐市民病院前交差点間)

渋滞長の解消 安佐市民病院前交差点の南北方向が解消 (L=70m～195m)

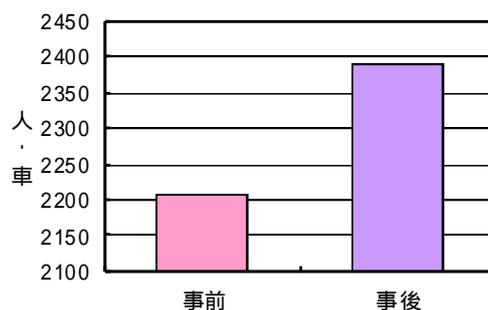


# 都市計画道路高陽可部線(2工区)の整備効果について(交通量調査結果)

## 【交通量調査結果】

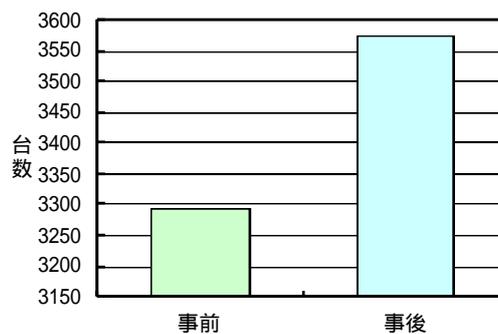
### 1. 歩行者・自転車交通量の増加

高陽可部線の歩行者は、事前調査に対して事後調査は、約 1.1 倍増加しました。



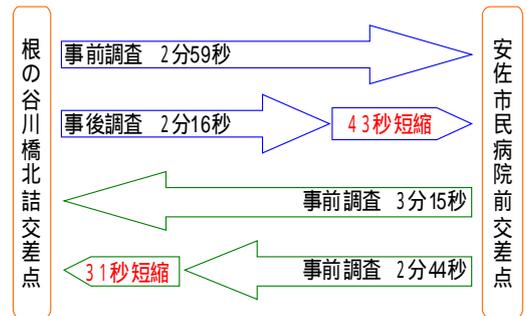
### 2. 自動車交通量の変化

高陽可部線の利用者は、市民病院前の箇所では約 280 台増加しました。増加比率は、事後調査は事前調査に対して、約 1.1 倍となっています。



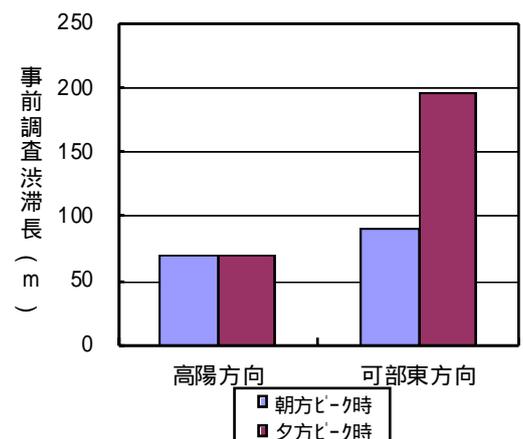
### 3. 旅行速度

根の谷川橋北詰交差点から安佐市民病院前交差点間の所要時間は、朝夕のピーク時を平均して、3分7秒から2分30秒になり37秒短縮されました。



### 4. 渋滞長の解消

安佐市民病院前の交差点では、事前調査の朝夕ピーク時に見受けられた、高陽方向の渋滞長(最長)約70mと、可部東方向の渋滞長(最長)約195mは、事後調査では見られませんでした。

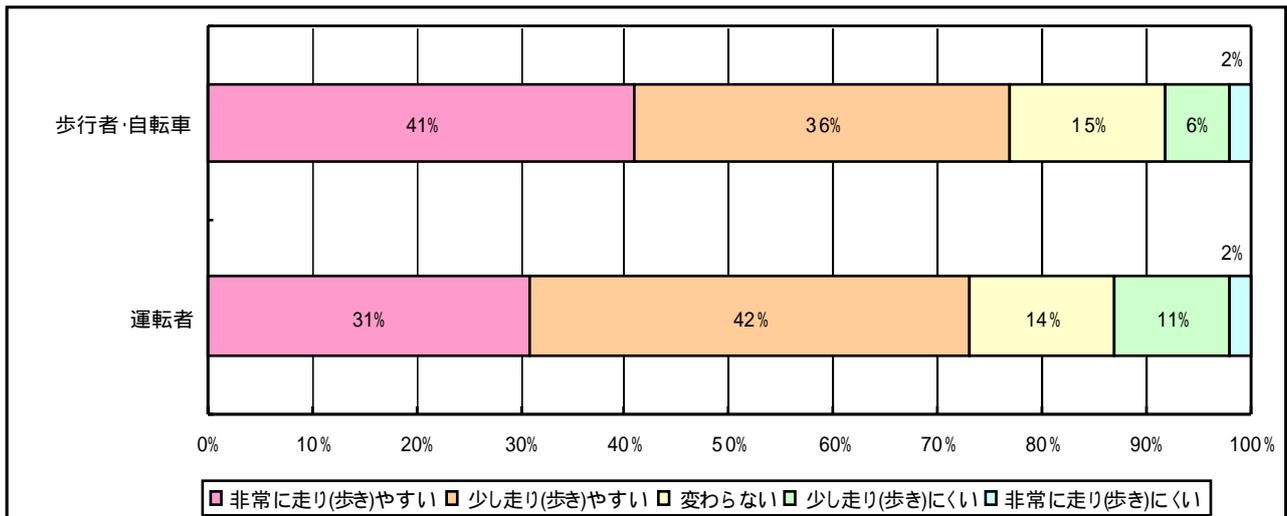


# 都市計画道路高陽可部線(2工区)の整備効果について(アンケート調査結果)

## 【アンケート調査結果】

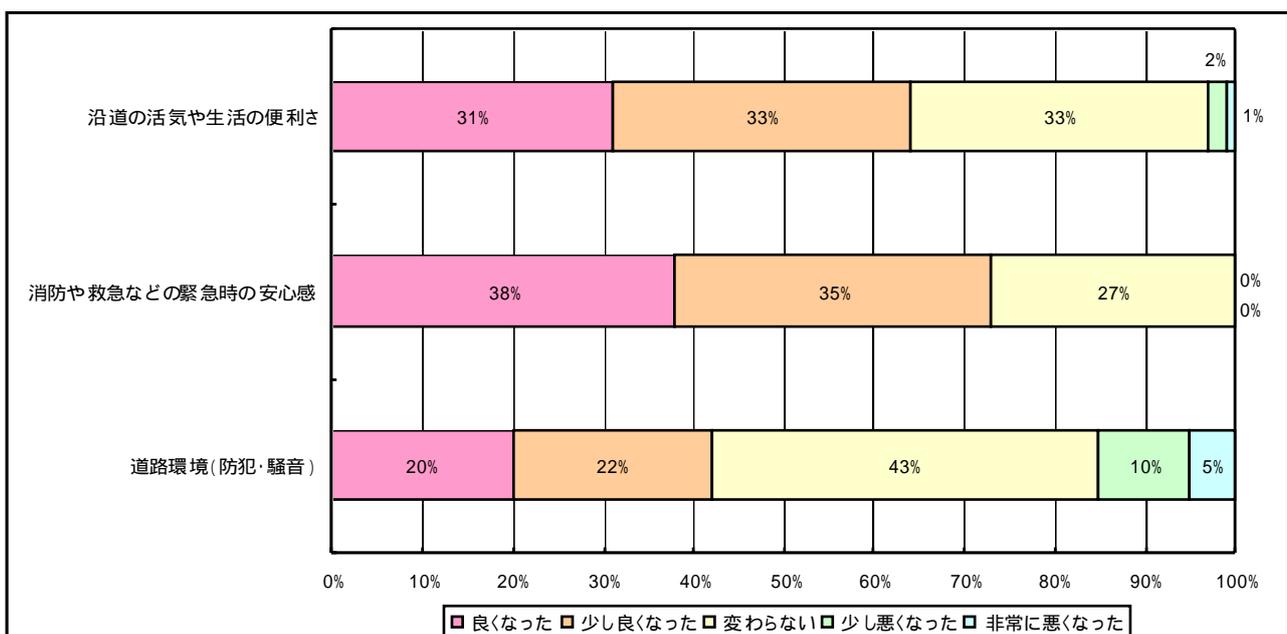
### 1. 利用者への効果

アンケート結果から、道路利用者の7割から8割の人が、道路が走り(歩き)やすいと回答しています。



### 2. 生活者への効果

アンケート結果から、6割以上の方が、沿道の活気や生活の便利さを感じています。  
また、7割以上の方が、消防や救急などの緊急時に対する安心感が増加したと感じています。



### 3. その他の意見

#### 効果を感じている点

- ・ 買物に行き来がすごく近くなって大変便利になりました。(60代女性)
- ・ 歩道が整備されとても良くなったと感じます。(40代男性)
- ・ 道もなめらかになって、自転車でも通りやすくなったと思います。(20代女性)
- ・ 救急車などの緊急車両が行き来し易いだろうと、安心感がある。(40代女性)

#### 問題点・要望など

- ・ スピードを出す車が増えて危険を感じる。
- ・ 交差点が増えたので信号を設置してほしい。
- ・ 可部大毛寺線に向けて更に延伸してほしい。
- ・ 安佐市民病院から R54 までを整備してほしい。

